



MORE MONROE.

モンローのこと、もう少し。



- 
- 1916 モンローの前身「プリストラスト」を設立。
- 1926 世界初のショックアブソーバ「モンローショックエリミネーター」を開発。
- 1933 自動車メーカーへの提供（純正採用）をスタート。
- 1951 「モンローマチック」が大ヒット。
アメリカの主要な自動車メーカーへの提供（純正採用）を拡大。
- 1964 開発／製造拠点をベルギーに設置。グローバル展開を本格化。
- 1973 「モンロージャパン」を創設。国内での販売をスタート。
- 1977 テネコ社と合併。アメリカのビッグ3をはじめ、
ヨーロッパの一流メーカーへの提供（純正採用）を加速。
- 1980 世界初のストラットの開発／製造をスタート。
- 2000 ヨーロッパ、アジアなどに次々と拠点を開設。
- 2016 創立 100 周年。

MONROE がこの世に存在しなければ、
自動車の乗り心地は、また違ったものになっていたかもしれません。

1926 年に世界初のショックアブソーバを生み出した MONROE の歴史は、
挑戦と革新の歴史であり、それはつまり、ショックアブソーバの歴史でもあります。
これまで、これからも、時代の先を往く走りを求めて。

何万通りものパターンの中から、ベストなバルブセッティングを導き、
最先端技術を搭載し、卓越したパフォーマンスを発揮する MONROE のサスペンション。

MONROE はすでに、次の 100 年に向けて走り出しています。

**DRIVEN BY INNOVATION AND
QUALITY SINCE 1916**

MORE MONROE.

モンローのこと、もう少し。

100周年、という節目に。

MONROEのことを、もう少し知りていただきたくて。

MONROEを、もう少し身近に感じていただきたくて。

MONROEに、もう少し気づいていただきたくて。

MONROEのことを、もう少し好きになっていただきたくて。

ここに、4小節の、つぶやき。

そのつぶやきの数だけ、

あなたと、MONROEとの距離が縮まることを信じて。

常に、求め続けてきた、ひとつ上の走り。

さらに、追い求める、未知なる走り。

We are MONROE.





「これを選んでおけば、間違いない」
間違いがあっては困る修理工場で、
よく聞かれるフレーズです。

「足回りをレストアしたい」「新車時の走りを取り戻したい」
ディーラーの修理工場やチューニングショップでよく聞かれるオーダーです。

足回りの交換が必要で、つまりショックアブソーバの交換が求められる時に、
車に詳しく、自分の車にこだわりを持つ方から、よく尋ねられる質問。
「交換するなら、走りも求めたい。信頼できて、選んで間違いないモノは？」

高い信頼性と、ひとつ上の走りと、安心と。

ヨーロッパ、アメリカ、日本。世界中の修理工場やガレージで、
MONROE のショックアブソーバが選ばれている理由は、そこあります。
もしあなたが、より快適な走りを求めてショックアブソーバの交換をお考えだとしたら、
試しにお店のスタッフに、前述の質問をしてみてください。

「これを選んでおけば、間違いない」と、
MONROE をおすすめされるはずです。

**DRIVEN BY INNOVATION AND
QUALITY SINCE 1916**



日本と欧米。
そのギャップに、驚かされます。

車に詳しい欧米の方が、日本に来て「意外！」と思うこと。

その一つが、MONROE の存在感が、ヨーロッパやアメリカのそれとはギャップがあることです。

純正採用品のシェアで言えば、北米では第 1 位、ヨーロッパでは第 2 位。

そもそも、「MONROE が、世界初のショックアブソーバを開発した」という事実も、
ほとんどの日本人が知らないはず…ですよね、きっと。

アメリカ車はもちろん、ヨーロッパ車のあの有名メーカーのあの車にも、
純正採用されているというのに。

だから今後、もし誰かの口から「MONROE」という名前が出てきたら、心の中でつぶやいてください。
「実は、欧米で超メジャーなショックアブソーバなんだ」と。

すると不思議と、MONROE のロゴが、
昨日よりも少しだけ、格好よく見えるかもしれません。

**DRIVEN BY INNOVATION AND
QUALITY SINCE 1916**



価格=ポテンシャル。
そう信じていると、
裏切られるかもしれません。

裏切ることは、何も悪いことばかりではありません。

例えば、MONROE の CVSA 電子制御式サスペンションシステム。

「えっ」「なんで」「うそでしょ」。

実際に MONROE 装着車に乗った方の第一声は、それぞれだと思いますが、
いずれも、その快適性とハンドリング性の良さに驚いていただけるはずです。

「モンローマジック」。私たちは、そのように呼んでいます。

マジックと呼んでしまった以上、これからも責任を持って、
ラグジュアリーセダンのような快適性と、
スポーツカーのようなハンドリング性能を両立させ続けることを、ここに誓います。

みなさまの想像を、いい意味で裏切り続けることも、一緒に。

**DRIVEN BY INNOVATION AND
QUALITY SINCE 1916**



走行距離、100,000km ?

腕の見せどころ、ならぬ、足の見せどころです。



最初に、お断り。

新車時の走りを取り戻したい…というご希望に対して、

MONROE に交換してみたら、

新車時の走りを上回ってしまった…としたら、すみません。

いえ、走行距離が多い車ほど、よくあるケースなものですから。

難しく言うと、「減衰力の立ち上がりをよくし、減衰に“抜け”を作らない」。

簡単に言うと、「しなやかな足」。

大きく言うと、「100 年の歴史で培ったチューニングセンス」とでも言うのでしょうか。

オリジナルの良さを、現代の最新技術で、さらに良いものに。

だからこそ、「違いが分かるあなたに、選んでいただきたい」。

その自信は、世界初のショックアブソーバを開発し、
常に一步先を走り続けてきた、MONROE のプライドでもあります。

**DRIVEN BY INNOVATION AND
QUALITY SINCE 1916**

TO THE NEXT.



次の 100 年。
そして、その先の MONROE。

1916 年、ミシガン州「モンロー」に、
前身である「ブリストブラスト」を設立してから 100 年。
世界 24カ国に 90 以上の生産拠点と技術開発拠点を有する現在の MONROE は、
その 100 年という歳月を走り続けてきた結果でもあります。

これまでも、これからも。

MONROE は、世界中の自動車メーカーのニーズに、
そして、
車を愛するすべての人のニーズに、
斬新なアイデアと最先端の技術力で応えていきます。

次の 100 年。
そして、その先の MONROE。
MONROE は、時代の一歩先を、走り続けます。

100
1916 MONROE 2016
Y E A R S

